



2025年10月 9 日

各 位

会 社 名 新都ホールディングス 株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 塚本 明輝
(コード番号：2776 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部 長井 司
電 話 03-5980-7002

EVバッテリーリユース事業への参入について

新都ホールディングス株式会社（以下「当社」といいます。）は、総合リサイクル企業として、プラスチック、金属等の廃棄物の収集、再資源化および製品化を行ってまいりました。その一環として、当社完全子会社である株式会社大都商会が、環境エネルギーベンチャーである株式会社REBGLOマーケティング（本社：東京都千代田区）から使用済みEVバッテリーを調達し、リユース事業者向けに販売を行い、総額2億円の取引が成立いたしました。

株式会社REBGLOマーケティングは、「環境負荷のかからないエネルギー開発」を理念に掲げ、使用済みEVバッテリーの二次利用を通じた蓄電池開発や災害時のBCP対応電源の提供等を手掛けております。当社グループは同社の理念に強く共感するとともに、当社リサイクル事業の基本方針とも方向性が一致していることから、このたび車載用EVバッテリーリユース事業への市場参入を決定いたしました。

国際エネルギー機関（IEA）の試算によれば、2030年には全世界で約2,000GWh規模のEVバッテリーが退役すると予測されております。これら退役バッテリーはEV用としての再利用は難しいものの、70～80%の性能を保持しており、低出力モビリティや定置型蓄電池、災害時のバックアップ電源、再生可能エネルギー発電の安定化、電力需要平準化等の幅広い利用が期待されます。

当社グループは、これらの需要に対応すべく販売ネットワークを構築し、リユース市場への安定的な供給体制を整備してまいります。加えて、将来的には当社リサイクル事業の原料として、EVバッテリーに含有されるリチウム、ニッケル、コバルト、マンガン等のレアメタル資源の回収・再資源化に向けた取り組みを検討してまいります。

さらに、リユースから回収・再資源化に至るまでの循環サイクルの構築を目指し、資源循環の促進と環境負荷の低減を図るとともに、持続可能な社会の実現に向け、リユース事業とリサイクル事業を融合させ、環境と経済の両立を可能とする事業モデルの確立を進めてまいります。

なお、本件が当社の業績に及ぼす影響は軽微であると見込んでおります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以上